

NDF 取引御担当者殿

東京外国為替市場委員会

議長 荻野哲司

副議長 加島章雄

副議長 小林和成

書記 川添 敬

NDF 小委員長 稲村秀彦

## NDF 取引コンファメーションについて

拝啓、初冬の候、貴社ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。

さて私ども東京外国為替市場委員会は、東京外国為替市場の整備、活性化等を目的として様々な活動を行っております外国為替ディーラー有志の団体ですが、今般そうした活動の一環として、差額決済型フォワード（NDF）取引のコンファメーションに関する実態調査を企画致しました。

ご存知の通りNDF取引は、規制等のためにフォワード取引が困難な通貨について、ヘッジを可能にするために開発された取引手法であり、東京市場でも少しずつ取引が活発化しつつあります。しかしNDF取引後のコンファメーションに付いては、2000年9月のEMTA推奨に準拠したフォームが国際的には一般化されているにもかかわらず、東京市場では、実際に署名され返送されるものも全体の1-2割に過ぎず、ニューヨーク市場に比べても著しく見劣りするのが現状です。またシンガポール、香港市場においてもコンファメーションの署名返却率も同様に低いとの報告を聞いており、この問題はアジア市場全般の問題であると考えられます。その他主要通貨に比べると、NDF対象通貨の政治リスクが相対的に高いがゆえにNDFとして取引されているとも言える実情を考えた場合、コンファメーションの不備は大きな市場混乱に発展する可能性があり、また取引当事者双方が大きな不利益を蒙るリスクがあります。NDF取引はその有用性が海外市場で認められている取引であることを考えますと、東京市場を少しでも使い勝手の良いものとし、その活性化を目指している私どもとしては、取引の安定のためのEMTAに準拠したコンファメーションフォームの雛型を提言するにあたり、まず取引に実際に関与されている銀行のフロント及びバックオフィスの担当の皆様にご意見を伺い、どのようなことが実際に問題となっているか、現状を把握する必要があると判断した次第です。

つきましては、私どもの意図を御斟酌いただき、御賛同いただければ、別添のアンケートにご協力賜りたく、ご依頼申し上げる次第です。尚、本アンケートの調査結果については、御参考までに皆様に還元させていただきます。

尚、私ども東京外国為替市場委員会に関する情報は、下記の当市場委員会ホームページ上でもご覧いただけます。NDF以外にも為替市場に関する様々な情報を掲載しておりますので、御興味のある方はそちらもご利用ください。また、日本フォレックスクラブとの協賛により、同クラブが運営するホームページ上の“会議室”を、本件に関する意見交換の場として設定致しました。同クラブの会員の皆様におかれましては、NDF問題および本アンケートについて御意見御質問等ございましたら、こちらの“会議室”、若しくは当市場委員会 E-メールアドレス（[fxcomtky@boj.or.jp](mailto:fxcomtky@boj.or.jp)）までお寄せいただければ、大変ありがたく是非参考にさせていただきたいと思っております。

甚だ勝手なお願いですが、1月10日までに E メール（[fxcomtky@boj.or.jp](mailto:fxcomtky@boj.or.jp)）にてご返答いただければ幸いです。お忙しい中とは存じますが、なにぶんのお力添えを賜ります様お願い申し上げます。

敬具

東京市場委員会ホームページ：<http://www.fxcomtky.com/>

日本フォレックスクラブ ホームページ：<http://www.forexclub-japan.com/>